

# ◎ 議会だより やまもと

Vol. 195  
令和4年2月1日発行



**第4回臨時会**  
会期11月30日

**第4回定例会**  
会期12月3日  
～10日

- 一般質問…………… P2～11  
議員9名が町政を問う
- 議案審議…………… P12～17  
住宅基金条例一部改正  
全議案審議結果
- 委員会報告…………… P18

ゴールは達成感に  
あふれている  
YYクラブジュニア・深山登山

# 令和3年 第4回定例会

## 定例会概要

第4回定例会は12月3日から10日まで8日間の日程で開催されました。町長から提案された議案11件（補正予算・条例・認定に係る議案）のほかに、追加議案1件、議員発議、委員会発議を審議し「山元町犯罪被害者等支援条例」および「山元町健康スポーツ推進条例」2件が継続審査となりました。

また、「山元町町営住宅基金条例の一部を改正する条例」は採決の結果、可否同数となり、議長裁決で審議不十分として否決されました。その他の議案は原案通り可決しました。

また、一般質問では、交通安全対策、少子高齢化対策、SDGsの取り組み、まちづくり、原油価格高騰対策等、町の取り組みを9人の議員が町長に質問しました。



## 一般質問 我が町政を問う

- ◇高橋 真理子 議員 ..... P3
  - ・企業と締結している地域支援包括協定等の活用について
  - ・各分野におけるICTの活用について
  - ・交通事故防止や防犯対策について
- ◆伊藤 貞悦 議員 ..... P4
  - ・これから30年後（2050）の町づくりについて
  - ・少子化・高齢化が進む我が町独自の施策について
  - ・教育・文化施策の推進について
- ◇渡邊千恵美 議員 ..... P5
  - ・山元町SDGsの取り組みについて
  - ・子育てするなら山元町の具現化について
- ◆高橋 建夫 議員 ..... P6
  - ・農業振興について
  - ・開発と排水対策について
- ◇菊地 康彦 議員 ..... P7
  - ・水田農業の問題点と対策について
- ◆大和 晴美 議員 ..... P8
  - ・子宮頸がん予防ワクチンの定期接種について
  - ・認知症の進行防止について
- ◇岩佐 孝子 議員 ..... P9
  - ・健やかなくらしとともに支える町づくりについて
  - ・地域資源をいかした持続可能な町づくりについて
- ◆橋元 伸一 議員 ..... P10
  - ・今後のまちづくりについて
- ◇遠藤 龍之 議員 ..... P11
  - ・原油価格高騰による負担増の対策について
  - ・町の重要施策の決定、実施に至るまでの経緯とそれに伴う町の説明責任について
  - ・町営（公営）住宅事業の取り組みについて

### 一般質問とは

町の行財政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの

こちらから録画映像を見ることができます ↓





# 企業との地域支援包括協定の進捗は

## 町長 今後、取り組みを推進していく

**議員** 昨年3月、(株)七十七銀行と締結した「地方創生に向けた包括連携に関する協定書」の、これまでの取り組みと成果は。

**町長** 具体の協議はまだこれからという状況で、ウェブによる「新型コロナウイルス感染症」に係る新制度の説明会開催だけという現状である。

地や専門学校の誘致など、積極的に活用してはどうか。

**町長** 民間の力を有効活用することは、非常に大切なことであるので、地元の支店長始め、銀行の方と会う機会を大事にし、引き続き必要なタイミングに、必要な力を借りることができるよう取り組んでいく。

家の情報を伝えておくことは有用では。

**町長** 様々な情報を発信・共有し、お互いに問題意識を持って取り組むことは、非常に大切である。

### その他の質問

交通事故防止や防犯対策、また移住者を呼び込むため、道路照明灯や防犯灯を全部LED化し、町全体をもっと明るくしては。



たかはし まりこ 議員  
高橋 眞理子

## 各分野のICT活用について

### 町長 他自治体の動向も注視しつつ検討

**議員** 政府の「デジタル田園都市国家構想」で、職員のスキルアップや町民サービス向上に向け、IT人材確保は必須となってくるが、対応は。

**町長** 他自治体の動向調査、情報収集の段階であり、必要なタイミングに応じて取り組んでいく。

**議員** 悠長に構えてはられない。角田市や白石市は企業と業務のデジタル化も視野に入れた連携を結び、亘理町ではITの人材確保支援策を始めた。本町の「スマート農業」普及はどのようになっているか。

**町長** 町内でも先行している事例がある。東部地区の大規模圃場だけではなく、丘通りにおいても、少しずつ普及できるように、国や県の補助制度を活用し、さらなる促進に努める。

心を引くような講習会を開催しては。

**課長** 関係機関と協調して、検討する。

**議員** 超スマート時代に向けた、多様な学びの可能性を秘めているICT教育の先進を目指す考えは。

**町長** ICT支援員を各校1人配置のサポート体制で、先進的にスタートしたが、先進に学び、段階的に着実に進めていきたい。

**議員** 国の支援金を活用し、自主学習にも効果的な「ドリルアプリ」を導入しては。



ICT教育が始まった

# 議会との信頼関係を考えているのか

町長 思いを一つにと常々思っている



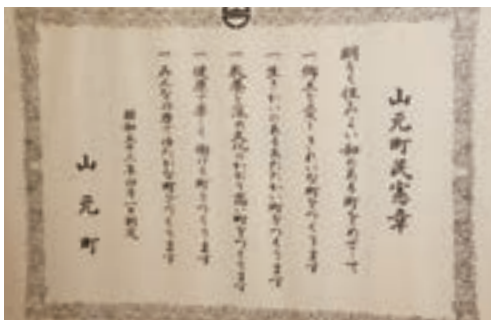
伊藤 貞悦 議員

**議員** 「町民憲章」の前文に「明るく住みよい和のある町を目指し」とあるが、町民や議会と対話・協力、信頼関係はどのように考えているのか。

**町長** 多様な意見を一定の方向に集約して、みんなで力を合わせていきたい。

**議員** 「町民や議会との意思疎通を図り、『チームやまもと』の構築に鋭意努める。」としているが、議会との意思疎通については。

**町長** 概ねの事案についてはは一定の理解を得ているが、案件により相互理解に時間を要する。今後、意義や役割、効果を共通理解ができれば、信頼関係の構築も難しくはない。価値観を共有できるように引き続き努力する。



「町の目標（和のある町）」

## 3期12年、町長の自己評価は

### 町長 一歩一歩着実に歩みを進めてきた

**議員** 3期12年の自己評価、総括と反省、これからの町づくりについてだが、4選出馬については。

と思う。引き続き努力をしていく。

**議員** 議会や町民との合意形成にもっと心を砕いて一工夫、二工夫する考えはないか。

**町長** 出処進退については支障があるので、今の段階では回答できない。

**町長** 議会との関係も含めて、一気にはいかないが、一つ一つ粘り強く執行部一体となり、できる限り議会と融和・信頼関係を持てるように努めていきたい。

**議員** 「町長就任直後、誰もが経験できなかった東日本大震災があり、それに伴い無力感にさいなまれながらも努めて冷静に、そして前向きにひたすら邁進してきた日々でした。」さらに、「一歩一歩着実に復興への歩みを進めてきた。」と総括しているが、今後、議会との関係、対話等をどのように考えているのか。

**町長** お互いの目指すところ、目的は同じだ

**議員** 震災復興の「あゆみ」を財産として次世代に記録として残す考えについては、発行する方向でよいのか。

**町長** 町として、みんなで力を合わせ乗り越えてきた大事な財産である。

様々なデータ整理、

加工等の技術を活用し、しっかりとしたものを残していきたい。

#### その他の質問

- 1 少子化・高齢化が進む我が町独自の施策について
  - 2 教育・文化施策の推進について
- 小学校の再編計画について、概略や方向性を明確に示し、町民の生の声をもう一度聞く考えはないか。

# 町民とSDGsに取り組む考えは

## 町長 鋭意取り組んでいく

**議員** 第6次総合計画

においてSDGsの取り組み目標が示されている。全町民が分かりやすく、個々に取り組める目標を掲げ、町民と一緒にSDGsに取り組む考えはないか。

**町長** 現時点では目標を設けることは考えていないが、総合計画を着実に進める中で町民一人一人が「SDGs」を意識し、身近なところから行動に移せる気運の醸成を図る。掲げられた国際目標が身近

に認識されるよう、鋭意取り組んでいく。

**議員** 具体的にSDGs

のワークショップ、意識向上のための講演会等に取り組む考えは。

**町長** 検討しながら対応していく。

**議員** 社会福祉協議会では地域福祉活動計画があるが、上位となる町の福祉計画が示されていない。いつまでに策定するのか。

**町長** 各種個別計画の始期に合わせる等の調整を行い、令和5年度

の策定に向け、鋭意取り組んでいく。

**議員** 「誰一人として

取り残さない」社会実現に向け、安全で安心に暮らせるための再犯防止対策が必要不可欠である。再犯防止推進計画に取り組む考えはないか。

**町長** 地域福祉との関連性が高いことから、国が推奨する地域福祉

計画との一体的な取り組みとし、令和5年度の策定に向け準備を進めていく。

※SDGsとは

「持続可能な開発目標」国際社会延滞の開発目標として、2030年を期限とする17の項目を設定したもの



わたなべ ちえみ 議員  
渡邊 千恵美



## 子育てしやすい環境の整備を

### 町長 状況を確認し検討する

**議員** 出産しやすい環境の整備は、不可欠なものである。産前産後の母親を応援するため、新たな支援サービスとしてママサポートタクシーに取り組み考えはないか。

**町長** ママサポートタクシー事業者は町外のみである。急を要する場合の対応は、現実的ではないと考えられるので、移動手段のサポートについては、妊婦等のニーズや町内事業者の状況を確認し、必要な支援を検討する。

**議員** 我が町には高校がないため、子どもが中・高校生になる頃は引っ越しを考えている家庭が少なくない。定住促進のためにも、通学費補助事業に取り組む考えはないか。

**町長** 「子育てするなら山元町」の具現化に向けて、県内最高水準の移住・定住策やライフステージに応じた切れ目のない子育て支援策の充実を図ってきた。通学費に関する支援は、今後の検討課題と認識している。



# 魅力ある農業振興策を

## 町長 さまざまな支援策を検討する



たかはし たてお 議員  
高橋 建夫

**議員** 認定農業者等の担い手不足対策への課題は。

**町長** 意欲ある担い手や経営体が経営規模拡大する際の大型農機具導入支援策が課題である。

**議員** 遊休農地化への対策は。

**町長** 農地利用状況や所有者への利用意向調査、農地の賃借や利用促進に努め、転作物の飼料用米・自給率が低い大豆・そばの作付誘導を図る。

**議員** 「いちごトレーニングセンター」は新たな担い手を育成し、生産基盤拡大や移住・定住効果を目指している。

同じ発想で、稲作・果樹・野菜生産者のグループ化や観光農園推進等の魅力ある振興策は。

**町長** 郡内大規模農家の連携やシャインマスカットの即売会等を実施し、生産基盤拡大と所得向上が期待されるので、支援策を検討する。

また、町外からの就農者誘導は、稲作経営、野菜や果樹との複合経営のどちらにしても、一定の農地確保、技術指導、定住の受け入れ体制を検討していく。

## 開発・排水対策を実施すべきでは

### 町長 再認識し改善していく

**議員** 土取り場35カ所中、残り15カ所が採掘中で、大雨時に濁水、土砂、玉石が流れ、町がしゅんせつに追われている。以前、県南サミットで知事に要望しているが、適正な管理・緑化を再度要請すべきでは。

**町長** 現地パトロールや、県と連携し改善を図るよう再要請する。

**議員** 太陽光パネルは、土砂流出や濁水発生、景観への影響、動植物の生息・生育が問題視されている。国の制度がなく、自治体単独の条例制定が進んでいる。適正な設置と自然環境との調和の点から本町も条例制定を急ぐべきでは。

**町長** 現状を精査し、対応する。

**議員** 町道横山東線東側の8カ所のサイホンは八手庭、横山、大平区からの排水が交差する巨理用水路の下を流れ下流へ導く重要施設なので、住民要望の4カ所の改修が必須では。

**町長** 藤崎川周辺を含め効果的改修方法の検討が必要。しゅんせつ、大雨時の応急対策をし、順次、排水対策を行う。

**議員** サイホンの清掃、応急対策や下流のしゅんせつを実施しているが、土取り場、太陽光パネルの影響で冠水や浸水の不安が増している。サイホンは設置から約70年以上経過している。効果的な改修の調査費を予算計上すべきでは。

**町長** 町内3〜4カ所の排水工事進捗状況を見極め、事前調査を検討していく。



改修を待つ重要排水施設サイホン

# 水田農業の継続に十分な施策を

## 町長 農業経営に不安のないよう努力する

**議員** 多面的機能支払交付金制度の広がりが見られないが。

**町長** 平成19年度に制度制定されたが、我が町は平成27年度から取り組んだことと、事業の事務負担増を懸念し、ためらう傾向にある。

**議員** 何故、取り組みが遅れたのか。

**町長** 当時の判断には残念な思いがある。

**議員** 組織の事務負担軽減策は。

**町長** 各行政区や土地

改良区と連携し、方向性を模索したい。

**議員** 制度を利用し中間地の環境整備を図れば、担い手農家への農地集約化が進むのでは。

**町長** 町にとっても必要な事業なので、制度を有効に利用し周辺環境整備を行い、取り組む事業である。

**議員** 「人・農地プラン」は町の水田農業の将来を方向づけるもので、農業者の意見を十分取り入れて策定する

ことが必須であるが。

**町長** コロナ禍にあるため、中心経営体の意見を確認し、今年度末までにプランの見直しを求められている。

**議員** それまでに間に合うのか。

**課長** アンケートの意見は、1月下旬までに取りまとめたいと考えている。

**議員** 対象者をなぜ中心経営体のみとしたのか。地権者や地域の意見反映は。

**課長** プランの登録者が中心経営体となっているためである。

**議員** 小規模農家も担い手として大いに重要ではないか。

**課長** 今回の取りまとめは対象外である。

今後、地権者等へは農業委員会を通じて意

向の確認を行う。

**議員** 「人・農地プラン」と連携する農地中間管理機構の活用は、さらなる農地整備が可能になり、担い手への農地集約化が期待される。しっかりしたプラン作りを進めるべき。

**議員** 米価下落や、農水省が示した令和4年の水田農業の取り組みを受け、農家に対し町の考え方を明確に示すべきでは。

**町長** 令和4年産はさらに主食用米等の価格安定や、需給調整を目的に転作物への作付け転換が求められている。収入を確保するため、できるだけ早い機会に産地交付金等を活用した方向性を説明したい。

**議員** 米政策は複雑混乱を極めている。その結果が米価25%の下落。農家は自分で価格を決められず、必要経費の価格上昇は待ってられない。水田農業の問題点と対策については、町の迅速で積極的施策に期待する。

※中心経営体とは  
今後、地域を中心となる認定農家や法人など、一定程度の耕作面積を担う町が認めた経営体のこと



それでも農地を守る！



議員 菊地 康彦  
やすひこ きくち

# 子宮頸がん予防ワクチン情報提供を

## 町長 正しい判断のため勧奨に努める



やまとはるみ 大和晴美 議員

**議員** 令和2年10月に国から子宮頸がん予防ワクチン接種対象者への情報提供に関する指示があったが、どのように対応したのか。

**町長** 県通知により、令和2年6月に対象である小学6年生から高校1年生205人全員に対し個別通知による情報提供に努めた。

**議員** ワクチンを接種していない方に対し、どのような対応を考えているのか。

**町長** 受けない理由等の確認を行い、副反応のリスクを上回るワクチンの安全性、有効性

について理解いただき、接種について正しい判断ができるよう勧奨に努める。

**議員** 11月末、積極的勧奨が再開した後の情報提供の方法については。

**町長** 対象者に対し、個別通知を行うとともに広報やホームページ等を活用し、積極的勧奨に努める。

**議員** 既にホームページに掲載している自治体がある。本町でも早急に掲載すべきではないか。

**町長** 早期に取り組んでいきたい。

**議員** キャッチアップ制度が導入された場合情報提供はどのような周知を予定しているのか。

**町長** これまで積極的接種勧奨が差し控えられたことにより、接種機会を見送られた対象年齢に対して、国は救済するための検討を進めている。キャッチ



女性の健康を守るために

アップ制度の対象年齢が固まり次第、個別通知に併せ広報等で積極的な周知に努める。

**議員** 説明会を開催する考えはないか。

**町長** コロナ禍において対象者と保護者を集めることは困難である。対象年齢の小中学生には学校での説明会、その他の対象者には通知内容を工夫した広報・周知に努める。

## 高齢者対象の

## 補聴器購入に補助を

### 町長 今後の検討課題

### として取り組む

**議員** 国のオレンジプランにおいて、難聴も認知症の発生や進行の原因となる要素として挙げられている。高齢者を対象とした補聴器購入に関する町独自の補助事業を実施する考えはないか。

**町長** 先進地の取り組みや月2回の補聴器相談の状況を確認しながら、今後の検討課題として取り組みたい。

**議員** 補聴器は高額で購入に二の足を踏む方も多い。支援対策として、介護基金活用を検討しては。

**町長** 財源捻出の方法として考えられる。

#### ※キャッチアップ制度とは

設定された予防接種期間を過ぎても、ワクチン接種できなかった人が後から接種、感染防御に追いつく（キャッチアップできる）という制度

#### ※オレンジプラン

認知症施策推進総合戦略のことで、認知症に対する意識をより深めていくことを目的としたもの。



# 重大事項の決定はこれでよいのか

## 町長 計画的事業展開をしていく

**議員** 2・13福島県沖地震の甚大な被害により、計画していた茶室整備事業を執行停止としたが、今後の計画や見通しは。

**教育長** 教育委員会で、町執行部の方針を受け、教育委員会定例会において協議した。

**議員** 打診をした際に出席した人数、時期は。  
**町長** 町幹部職員6人（町長、副町長、総務課長・企画財政課長、教育長、生涯学習課長）である。



議員 岩佐 孝子

**議員** 町の重大事項の決定を幹部6人だけで決定してよいのか。公式の会議なのか。

**町長** 執行部では、打ち合わせを重ね、一定の方向性を示した。今後は教育委員会内部で議論を重ねてもらう。

**教育長** 執行部から「茶室修復保存は難しいのでは。」と見解が示され教育委員会で協議した。  
**議員** 大きな方向転換を安易に決定してよいのか。

**町長** 現段階での回答は差し控える。

**議員** 文化財保護委員会への諮問は。

**教育長** 現段階では、町の最終方針を決定していない。

議会へ正式に提示し、その後に実施する予定である。

**議員** 保護委員会に諮問し、答申を受けるべきである。順序が逆である。

**教育長** 保護委員会から答申を受け、方向性を固めていかねばならない。

**議員** 保護委員会の開催回数と内容は。

**課長** 未開催である。担当課として、解体保存し、将来的には再建築したい。

**議員** 保護委員、関係者や地域住民の思いを

どのように受け止め結論を出したのか。

**町長** タイミングを見て説明したい。

**議員** 「茶室」は、町が誇れる歴史的建造物である。保護してきた人、施設を活かした事業展開を考え、1日でも早く住民・地域の思いを実現するよう求める。



茶室の復元を早急に

## 通学・通勤者の安全・安心対策を

### 町長 対策・維持に努める

**議員** 行政区から要請しても通学・通勤路での防犯灯等の修繕されていない箇所があるが。

**町長** 100%できるものではないが、行政区との連携を図っていきたい。

**議員** 行政区から情報を提供し、要望しているのだが。

**課長** 速やかな対応に努める。

**議員** 真庭下郷線で、路側帯の線が消えている箇所があるが。

**町長** 優先順位は、地元と検討する。

**議員** 日幸電機以南で河川沿いの道路に側溝かガードレールを整備すべきでは。

**町長** 検討する。

**議員** 一人一人の命を大事にした安心安全な環境整備をすべきである。

# 通常予算に戻った中での事業展開は

## 町長 中長期的に考え課題解決を図る



はしもと しんいち 議員  
橋元 伸一

**議員** 定住促進事業における重点政策は何か。  
**町長** 移住定住支援補助金である。  
**議員** 条件によって、新婚・子育て世代であれば最大350万円以上の支援があり、近年3年間の年平均補助実績は約9千万円である。人口減少、少子高齢化対策として当面は継続していく計画だが、予算確保は十分か。  
**町長** 仮に余裕がなくとも、どこに力点をおくか方向性が共通認識されれば重点的にメリハリを効かせるという視点・観点が大事である。  
**議員** 今議会において

町営住宅基金条例の改正案が提出され、基金の活用範囲を広げ、移住定住促進事業に活用するとはどういうことか。  
**町長** 一般財源で充当しているが、基金活用により、別の施策に充当できる。  
**議員** 「新市街地を中心とした町の活力を保持するための事業」に充当するということが、町全体が対象ということか。  
**町長** 新市街地を中心とした環境整備であるが、町全体を捉えた移住定住施策であり、地域を限定するものではない。  
**議員** 今後の進め方として、新市街地と既存の各地区との連担性は。

い。坂元地区は、副都心的なまちづくりを考えてきたが、下郷区、町区を中心に市街地を拡大、形成していく方向性である。  
**議員** 震災後、コンパクトシティ構想を基に再建計画を策定し実行してきたが、当町は東西6km、南北12kmの小さな町である。新市街地だけではなく、既存の地区とのつながりを考え、町全体を1つと考えたまちづくりを進めるべきである。  
**議員** ぐるりん号、デマンドタクシーについて何う。アンケートにおいては数年前から低評価であり、見直しが必要であるという結果が出ている。見直し時期は。  
**町長** 総括するタイミングになっている。改めて利用者の声を聞き、利便性の高いもの

に改善する必要がある。その時期が来たと思っている。  
**議員** 我が町は、高齢化率が高く、交通弱者と言われる住民が多い。町全体のつながりを確保する意味でも大変重要な問題であり、早期の見直しを図るべきである。



地域ぐるみで子育て

# 原油価格高騰による負担増の対策を

## 町長 生活者や農漁業者等へ支援



えんどう たつゆき  
遠藤 龍之 議員

**議員** 原油価格高騰に歯止めがかからない中、町民生活や、農漁業者等の生業に深刻な影響を与えている。みやぎ生協宅配灯油の暫定価格は昨年同時より、52円高い水準にあり、ガソリンも高値が続いており、これら負担増の対策が求められている。低所得世帯、高齢、障がい者世帯等への灯油購入費を補助する福祉灯油の実施や農漁業者、タクシー業者等燃油を大量に使う業者へ

の燃料費助成を行う考えはないか。

**町長** 低所得世帯への福祉灯油をはじめ、ハウス農家や漁業者へ燃油支援策を取りまとめ、生活者や農漁業者等への支援を講じる。

**議員** 支援を講じるということだが、今各種基金の活用が問われている中、こういう支援策にこそ活用すべきであることを指摘していきたい。



### その他の質問

町長の説明責任について町の重要事案、施策等がどのような経緯で決められ、事業実施に至っているのか、そして、それらの取り組みについて、町長の説明責任は果たしているか

## 住宅基金の活用に問題はないか

### 町長 国と協議 活用可能を確認

**議員** 町営住宅基金条例の一部改正について、どのような検討、議論を重ねて提案したのか。

**町長** 公営住宅長寿命化計画において課題を整理し、その具現化を検討するとともに町営住宅基金に一定の残高が見込めることから、その有効活用に向け国と協議、基金の用途について住宅政策に関する一定範囲内であれば活用可能であることを確認、条例改正を提案した。

**課長** 復興公営住宅にも低減化というはある。

**議員** 現状の復興公営住宅の基準であり、求めている対策にはなっていない、問題であることを強く指摘する。

次に、基金の用途について30年度には財政シミュレーションが試算されていたにも関わらず、この時期での説明に問題があると考え、何故そこまで隠さなければならぬのか。  
**町長** 慎重を要することに集約される。

**議員** 回答にはなっていない。説明不足が問題を引き起こしている。この多額の住宅基金の活用について、市街地形成など目的外使用にもつながらる活用はすべきではない。今、大事なことは、生活困窮している方々へこの貴重な基金を活用すべきである。



# 審議不十分で「否決」

7名による討論が行われました。採決結果、賛成、反対6名ずつの同数となり、「審議不十分、

## 条例改正目的

町営住宅基金を有効に活用し、町営住宅の適正な維持管理及び移住定住による地域活性化を図るため、改正を行うもの。

## 改正内容

改正前	改正後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備、改良、修繕等に要する費用</li> <li>・地方債の償還</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※改正前の内容に次の内容を加える</li> <li>・移住定住促進施策を推進するために要する費用</li> </ul>

討論とは

議題に対し「賛成」、「反対」の意見を表明すること。

自己の意見への反対者、賛否未決定者を自己の意見に賛同させることを目的として行うもの

## 反対討論

橋元伸一議員

**説明不足、協議不足である**

この議案は、基金の運用範囲を大きく広げ、目的外使用を認めるものであり、本来の目的に対して大きな影響を及ぼすことが懸念される。さらに、基金も高額のため慎重に審議する必要がある。

また、質疑においても、多くの疑問、疑念に対する質問が出されたが、到底納得できる回答には至っていない。「説明、協議不足」が明らかであり、時間をかけた丁寧な説明による目的に対する共通理解、そしてさらなる慎重審議が必要であると考えるところから、反対するものである。

岩佐孝子議員

**計画的かつ慎重に実施すべき**

次の理由から反対する。  
1 9月に取り下げとした要因についてはどのように点検・検討したのか。  
議会に対し説明不足であり、条例内容は再度見直しが必要である。

2 現在居住している既存町営住宅の改修工事等をし、居住者の快適な生活環境整備を優先すべきである。  
3 基金活用については、町づくりの観点から慎重に取り組むべきである。  
以上、きちんとした財政計画を立て、実施していくべきであることから原案に反対する。

遠藤龍之議員

**貴重な基金目的外使用は許されるか**

次の理由から反対  
基金運用ということだが、財政シミュレーションに基づく事業計画等が明確に示されないなか、貴重な基金は目的外使用等、不透明な中で使用されているのか。

今後、新たに入居を望む生活困窮者に対する保障が明確にされていない。この様な貴重な財源は今の情勢の中で困っている人たちにも使えるようにする。そのためにも、よく自身を議論し、充実したものにすべきことを提起し、この段階では反対するものである。

# 賛成・反対同数

議案審議にあたり、半数以上の議員からの質疑（主な内容を次ページに掲載）があり、その後改めて審議が必要」とした議長の裁決により否決となりました。

## 採決表

氏名	伊藤 貞悦	橋元 伸一	岩佐 秀一	大和 晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内 和彦	遠藤 龍之	岩佐 孝子	阿部 均	菊地 康彦	高橋 建夫	岩佐 哲也
採決結果	●	●	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	—

○ 賛成 ● 反対 — 議長



## 賛成討論

岩佐秀一議員

**有効活用は、町の発展に貢献する**

条例改正の趣旨、経緯の説明を受け、当町の課題は、人口減少の抑制と町の活性化を図り、新規転入者を増やすことである。

また、町営住宅の現状は経年劣化が進み、住環境が悪く利用者が減り、稼働率が悪化しており、今回の条例改正により、既存公営住宅から復興公営住宅へ移転する際移転費用補助や家賃増額保証等を掲げている、住環境の改善が図られ安全で安心に暮らせる町にするためにも、町営住宅基金の有効活用を図る改正条例に賛成する。

竹内和彦議員

**基金の有効活用を図る**

今我が町の住宅基金は相当の額に積み上がっている。今後、さらに積み上がる見通しである。

今回、改正を求める条例は、この基金の運用幅を広げて、移住定住促進施策に使えるように改正するものである。移住定住者と呼ばれる込み公営住宅を含む地域の総合的な住環境整備が可能になると考える。これは町の持続可能な地域づくりに資する事であり、町民の利益となるものである。よって、この改正する条例案に賛成する。

渡邊千恵美議員

**持続可能な町づくりを進めるために**

東北整備局からの資料の確認をし、シミュレーションも見た。町営住宅に住んでいる方々を、今救済出来なければ永久に残る課題だ。一日も早く進めるべきと考える。

また、活用方針については、移住定住促進事業施策を推進するためや障害者・認知症高齢者グループホーム施策のニーズに応じた活用を進め、持続可能な町づくりに資するべきと判断した。これらの理由により一部改正の条例案に賛成するものである。

菊地康彦議員

**住みやすいまちと、活気あるまちに**

条例の一部改正は、町営住宅の「入居者に住みやすい環境」や、移住定住促進施策の推進、公営住宅の活用支援等を目的としている。多くの利点があり、町民のためや、町の将来の活性化に大きな期待が持てる。

魅力のある「新しいまちづくり」を訴え、「ベットタウン化」を視野に、町の最大の課題「人口減少対策」、そして、「子育て世代、高齢者福祉環境整備・充実や、弱者によりそいう町」の実現のため、原案に賛成するものである。

# 山元町町営住宅基金条例の一部を改正する条例〔議案第61号〕

## 主な質疑

**議員** 国が明確にしていけない基金活用に問題はないか。

**町長** 一定の住宅施策に資するものであれば、国が示す弾力的活用（目的外使用）は合理的な判断、展開であり問題ない。

**議員** 既存住宅から復興住宅へ入居される場合、家賃はどうなるか。

**町長** 既存の老朽化した住居を立て直すのは現実的でなく、復興公営住宅が空いていくのでそちらに移転していただきその差額を基金で補償する。

**議員** 新たに低所得者が入居したい場合の補助は。

**課長** 家賃要件は、収入要件に依りてとなる

が、家賃支払い困難な方には家賃の減免制度があり、申請により対応できる。

**議員** 住民が理解しやすいよう、周知を図るべきである。

**議員** この基金の収支財政シミュレーションは数字の動きだけで、中身について明確に理解できない。事業計画・財政計画の資料提出を求める。

**町長** 11月の全員協議会で提出した資料（目的外の使用計画）の中に、令和3年度から19年度まで予定している事業関係を記載しており、それで理解願う。

長寿命化計画策定時に算定した基礎建設費用を参考に積み上げている。

**議員** スポーツ・レクリエーション複合施設整備事業や復興施設整備事業等も基金活用対象事業の範囲となるのか。

**町長** 移住定住の施策として、移り住んでもらう町全体の活力保持での運用を図るとしているため、指摘の事業は対象外である。

**議員** 条例改正後、新市街地だけでなく、均衡あるまちづくりを進めることが重要と考えるが。

**町長** 町全体の活性化、利便性、快適性のあるまちづくりを継続していく。

## 補正予算

## 子育て世帯への臨時特別給付金等

可決

一般会計の補正予算は約13億5千万円を増額し、総額約102億円となりました。主な補正予算内容は次のとおりとなります。

### 主な事業

○移住・定住支援補助金	36,843千円
●旧老人憩いの家解体撤去工事	17,435万円
○子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	71,350千円
●新型コロナウイルスワクチン接種経費 (第3回目接種費用)	69,918千円
○坂元地域交流センター災害復旧費	16,100千円



旧老人憩いの家

## 主な質疑

○企画費

**議員** 複合施設の不動産鑑定委託内容は。

**課長** 常任委員会等において土地評価の調査をした方がよいと提案があり補正予算に計上したものである。

●災害復旧費

**議員** 坂元地域交流センター災害復旧工事の箇所と内容は。

**課長** 外構の段差調整、駐車場、建物内外壁のひび割れを中心とした工事である。





# 条例一部改正

◆非常勤消防団員、任免、給与、服務等に関する条例 **可決**  
 【議案第58号】

**提案理由**

国からの通知に基づき、消防団員の出勤報酬及び費用弁償の改正を行う。

**改正内容**

現行 費用弁償		見直し後 出勤報酬	
1回	2,000円	4時間以上	8,000円
※災害救助法に基づく場合		4時間未満	4,000円
1日	5,000円	演習や会議等	2,000円

**施行期日**

令和4年4月1日



◆国民健康保険税条例 **可決**  
 【議案第59号】

**提案理由**

法律の改正による、子どもに係る国民健康保険等の均等割額の減額措置の施行に併せて、町独自の子育て世代のさらなる軽減負担を図るため、国民健康保険事業財政調整基金を活用し、均等割減額の拡充を実施する。

**改正内容**

未就学児………国の制度(5割軽減)に上乘せし10割軽減  
 小学生～18歳……町独自に10割軽減

**施行期日等**

公布の日から令和4年度以降当分の間の国民健康保険税に適用



# 意見書

米の需給対策及び令和3年米価下落に伴う支援策を求める意見書 **可決**  
 【議員提出議案第2号】

◆提出者

菊地 康彦

◆賛成者

岩佐 秀一

**提案理由**

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、米の需要が減少し、過大な在庫が生じたことにより、米価が大幅に下落した。

このことから、営農意欲の減退、離農等が危惧されるため、米の需給環境改善による所得確保と経営安定を図り、稲作農家及び担い手経営体が将来の水田農業経営を展望できるよう万全の対策を講じるよう強く求めるもの。

**提出先**

- ・衆議院議長
- ・参議院議長
- ・内閣総理大臣
- ・農林水産大臣
- ・県知事



# 令和3年 第4回臨時会

11月30日に臨時会が開催され、コロナ感染症対策費などの補正予算、工事請負契約など、報告2件・承認1件・議案4件を審議しました。

補正予算では主にコロナ感染症、米価下落対策費として次の内容が提出され承認・可決されました。



## 補正予算

【承認第11号・議案第53号関係】



### 主な事業

○新型コロナワクチン接種関係業務委託 (3回目予防接種実施に伴う準備のため)	8,594千円
●町内タクシー事業者支援事業補助(15台分)	990千円
○町内理美容事業者支援事業補助(40件分)	2,640千円
●米価下落・稲作経営農家 支援対策事業支援金(383人分)	30,152千円

## 意見書を提出!!

11月18日、齋藤町長と衆議院第二議員会館において、西村明宏衆議院議員へ内閣総理大臣(ほか4名)宛ての意見書を提出しました。

### 意見書名

「災害対策関係法律の改正を求める意見書」※6月11日議決

### 内容

災害対策関係法律の見直し、並びに新たな支援対策を含めた法整備を要望するもの



意見書提出

### 提出先

- ・衆議院議長
- ・参議院議長
- ・内閣総理大臣
- ・国土強靱化担当大臣
- ・自由民主党災害対策特別委員会委員長

○令和3年 第4回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第14号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更） ※（仮称）新浜諏訪原線道路改良工事3,007,400円の増額	報 告
報告第15号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更） ※頭無西牛橋交差点改良工事2,073,500円の増額	報 告
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度山元町一般会計補正予算・専決第1号）【P16に掲載】	認 定
議案第51号	令和2年度（繰）社総交（復興）請9号 頭無西牛橋線舗装工事請負契約の締結について ※契約金額 95,837,500円	可 決
議案第52号	令和3年度 交通安全施設補助請1号 大平牛橋線橋田橋下部工工事請負契約の変更について ※22,939,400円の増額	可 決
議案第53号	令和3年度山元町一般会計補正予算（第4号）【P16に掲載】	可 決
議案第54号	令和3年度山元町水道事業会計補正予算（第3号）	可 決

○令和3年 第4回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第55号	山元町犯罪被害者等支援条例 ※総務民生常任委員会に付託、令和4年第1回定例会までの継続調査	継 続 審 議
議案第56号	山元町健康スポーツ推進条例 ※産建教育常任委員会に付託、令和4年第1回定例会までの継続調査	継 続 審 議
議案第57号	山元町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ※報酬額の改正	可 決
議案第58号	山元町非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 【P15に掲載】	可 決
議案第59号	山元町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 【P15に掲載】	可 決
議案第60号	山元町国民健康保険条例の一部を改正する条例 ※政令の施行に伴い出産育児一時金を現状維持するための改正	可 決
議案第61号	山元町町営住宅基金条例の一部を改正する条例 【P12-13に掲載】	否 決
議案第62号	町道の路線認定について	可 決
議案第63号	令和3年度山元町一般会計補正予算（第5号）【P14に掲載】	可 決
議案第64号	令和3年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第65号	令和3年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第66号	山元町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議発第2号	米の需給対策及び令和3年度米価下落に伴う支援策を求める意見書 【P15に掲載】	可 決
委発第3号	山元町議会会議規則の一部を改正する規則	可 決

○陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者等の氏名	結 果
陳情第7号	米の需給調整および米価下落・稲作経営農家支援対策に関する緊急要請書	みやぎ巨理農業協同組合 代表理事組合長 大堀 正信	配 布
陳情第8号	「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための意見書」採択を求める陳情書の提出について	宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修	配 布
陳情第9号	令和4年度山元町補助金要望書	巨理山元商工会 会長 門澤 俊夫	配 布



# 町の仕事をチェック!!

## 総務民生常任委員会

## 産建教育常任委員会

### ◆小規模保育事業

#### 調査内容

小規模保育事業（園児数、職員体制、施設等）の概要について調査した。

#### 意見

開所時点で0歳児の待機児童が解消されておらず、さらなる児童の受け皿確保や具体的な改善策がないことが問題であり、今後の児童数と保育ニーズを同時に検討していくべきである。

また、待機児童が生じないよう幼稚園、保育所、小規模保育事業の運営等への支援が必要である。



なないろ保育園

### ◆スポーツ・レクリエーション複合整備事業

#### 調査内容

「事業想定スケジュール」の進捗状況について調査を実施した。

#### 意見

また、パークゴルフの併設施設について、民間活力（PPP/PIF）の説明を受けた。

#### 意見

スケジュールが遅れている事業項目があり、詳細な部分の確認ができなかった。

また、来年度当初予算は骨格予算となることから計上はしないとのことだが、計画案を精査、熟考し全体事業計画と予算について説明し進めるべきである。

### ◆町営住宅

#### 調査内容

公営住宅長寿命化計画について調査を実施した。

#### 意見

・「町営住宅関連施策における中長期スケジュール」が示された。既存公営住宅の入居者に対し、今後のスケジュールなど、丁寧な説明を実施されたい。

・老朽化している既存公営住宅（福祉的役割を持つ）の入居者の多くが高齢化していることから、計画に沿った復興公営住宅への移転ができるよう、早急な意向調査を実施すべきである。

### ◆学校環境整備

#### 調査内容

ICTの活用および学校再編後の状況について、山元中学校、山下第二小学校を現地調査した。

#### 意見

・ICT機器を家庭で使う必要が出てきた場合のために、Wi-Fi環



ICT活用による授業

境などが整っていない家庭への支援を検討すべきである。

・再編した中学校で、生徒は落ち着いて過ごしているようであるが、生徒が実力をますます発揮できるよう学校、家庭、地域の連携を強化し、教育全般の環境整備を図られたい。

# 議員の会議等出欠状況

令和3年10月1日～12月31日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				伊藤貞悦	橋元伸一	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也
10	6	水	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	7	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	8	金	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	15	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	20	水	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	21	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
11	4	木	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	欠	—	—
	8	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
			産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	12	金	県町村議会 広報研究会	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—
	19	金	議会広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—
			全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	月	県町村議会議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
25	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○
30	火	第4回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	1	水	議会運営委員会	○	—	—	○	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	第4回議会定例会（12/3・7・8・10）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	金	議会広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—
	6	月	総務民生常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	—
	9	木	産建教育常任委員会	—	○	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—
	10	金	議会広報・広聴常任委員会	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—
	14	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	16	木	議会運営委員会	○	—	—	○	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	17	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	月	総務民生常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	—
	21	火	産建教育常任委員会	—	○	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—
	22	水	巨理地方町議会議長会定例会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
23	木	仙南・巨理地方長議会議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
24	金	県知事との意見交換会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	

## 議長交際費

区分	10月		11月		12月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
慶 甲	0	—	3,000	少年野球大会 祝儀	0	—
甲 慰	13,200	伊達市長実母葬儀 生花代	26,500	元議員葬儀 香典、生花代ほか1件	0	—
合 計	13,200		29,500		0	※支出なし



## ふるさとの文化を次代へつなぐ!!

やまもと民話の会 代表 武田良子 (会員9人)

平成9年3月歴史民俗資料館で、“むかしむかしざっと昔”企画展を開催しました。これは昭和47年町老人クラブ連合会編集『民話』(50話)を基に昔からの伝説や故事、子守り歌などが、社会情勢の進展や時代の推移とともに自然消滅してしまうことを憂い、保存したものを冊子だけではなく、語り継ごうと企画されました。この企画展での協力者を中心に平成10年5月「やまもと民話の会」を発足し、月末の定例会の他に「語りの会」などの活動をしております。

なお、語りだけではなく、2011.3.11「東日本大震災」の状況や被災者された方々の声等々を『小さな町を呑み込んだ巨大津波』(第1集から第3集)を刊行し、全国へ向け発信しました。

また、先人が残した民話に加え、会員それぞれの身近な持ち話や震災の記憶を留めたく令和2年6月には『民話』を改訂増補しました。今後も無形の宝として存在しているものを後世に残すべく、郷土の「民話」を語り継ぐ活動をしていきたいものです。

## ◆ ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆ ◆

### 令和4年 第1回山元町議会定例会 (予定)

会期：2月25日(金)～3月17日(木)

開会：午前10時

本会議：2月25日・3月2日・3日・7日・17日

(一般質問は、3月2日・3日です。)

### ホームページをご覧ください

山元町議会

検索



## 令和4年 議会報告会

議会報告会は新型コロナウイルス感染症拡大により、年度内の開催を中止いたします。



新メンバーでがんばります

- 〈議会広報・広聴常任委員会〉
- 委員長 岩佐 秀一
  - 副委員長 菊地 康彦
  - 委員 渡邊 千恵美
  - 委員 岩佐 孝子
  - 委員 高橋 建夫

昨年、新型コロナウイルス感染が拡大する中、東京五輪・パラリンピックが開催され、不安と感動の一年でありました。今年も、オミクロン株という新たな脅威に直面しております。皆で支えあい、この困難な状況を乗り越えていくため、町と一体となつて感染防止に取り組んでまいりますので、今後とも皆さまの一層のご支援ご協力をお願いいたします。

### 編集デスク